

平成21年度 東海目録研修会 (2009.8.25)



病院図書室の利用者教育 ～ 当館での実践から ～

国立国際医療センター図書館

岩下 愛 library@nciryv.hosp.go.jp

<http://www.imcj.go.jp/library/index.html>

1

本日の流れ



- ・ 当センター／当館について
- ・ 当館の利用教育
 - 位置づけ
 - 実施プログラムについて
種類／各年度の実施状況／内容の詳細
 - 当館の視点と課題
- ・ 利用教育のポイント
 - PDCAサイクルを意識
- ・ 利用教育のススメ



2

当センターの概要



- ・ 病床数:885床(新宿)
 - ・ 診療科:28科
 - ・ 医師:400名、看護師:600名
 - ・ うち初期研修医:90名
 - ・ 国立高度専門医療センター(ナショナルセンター)
 - ・ 総合診療+臨床研究+人材育成
 - ・ 特定感染症指定医療機関
 - ・ 国際医療協力、感染症、AIDS/HIV、肝炎患、メタボ
 - ・ 平成21年4月 独法化、8月 新病棟オープン
- 組織図
- 国立国際医療センター(新宿)
- 運営局 ……図書館
運営局長=図書館長
 - 国際医療協力局
 - 戸山病院
 - 研究所
 - 国立看護大学校(清瀬) ……図書館
 - 国府台病院(市川)

3

当館の概要



- ・ 面積:約450㎡
 - ・ 座席数:35
 - ・ 利用者用PC:12台
 - ・ スタッフ:常勤司書2名
 - ・ 開館時間:24H利用可
 - 平日 8:30～17:00
 - その他は無人開館
 - ・ 管理システム導入済み
 - 情報館 ⇒ リメディア
 - ・ 一般者へは非公開
 - ・ [館内の写真](#)
- 蔵書数
- 単行書 12,000冊
 - 製本雑誌 23,500冊
 - 受入雑誌(寄贈含む)
 - ・ 和雑誌 250
 - ・ 洋雑誌 90
 - 電子ジャーナル(契約分)
 - ・ 2,900タイトル
- ILL
- 他館へ申込 989件
 - 他館から受付 759件

※数値は2009年3月末

4

当館の運営～3ステップの取り組み



- Step1 図書館のアピール
- (’01) 利用案内、館内サインの一新
 - (’02) LANへHPを開設
 - (’02) 内部MLで情報発信
 - (’03) 連携医の利用受入(24H)
- 大学図書館並みの種類豊富なサービス + 病院図書室のフレンドリーな個別サービス
- Step2 コンテンツの充実
- (’02) NIIへ参加→(’05)相殺
 - (’04) EJコンソーシアム契約
- オープン化
- Step3 資源の活用と環境整備
- (’06) レイアウト変更、PC増設
 - (’06) リンクリゾルバ導入
 - (’08) HPリニューアル、外部公開
 - (’09) 図書館システムリプレイス

5

利用教育とは



- ・ 定義
 - 図書館利用教育とは、すべての利用者が自立して図書館を含む情報環境を効果的・効率的に活用できるようにするために、体系的・組織的に行なわれる教育である
- ・ 目標・目的(5領域)
 - ①印象づけ、②サービス案内、③情報探索法指導、④情報整理法指導、⑤情報表現法指導

出典:日本図書館協会利用教育委員会編 図書館利用教育ガイドライン: 大学図書館版(1998) <http://www.jla.or.jp/cue/gl-a.html>

6

当館の利用教育～位置づけ



- ・ **なぜ利用教育が必要なのか？**
 - 利用者のニーズ『必要な情報を迅速に、的確に、効率よく入手したい』をサポートする役割
 - 様々なツールがリンクして、図書館サービスを提供している。便利な反面、使い方が分かり難い、という現状
- ・ **図書館からの期待**
 - 図書館サービスを複合的に使って、診療・研究・教育に活用してほしい
 - 契約しているリソースの紹介
 - 新サービスの広報手段



7

実施プログラムの種類



- ・ **オリエンテーション(①+②)**
 - 図書館サービスの利用経験に差があるため、印象づけを重視し、当館が使えることを知ってもらおう。
 - 新採用者オリは、職員を一同に集めて案内できる唯一の機会、ポイントを絞ったサービス案内
- ・ **文献検索／サービス活用講座(②+③+④)**
 - 対象に合わせてプログラムを設定
 - 事前に個別の希望を聞く(時間・場所・内容)
 - 具体的な検索方法を提案したり、幾通りかの使用シーンを紹介し、ストーリー性をもたせる工夫

8

2008年度 (利用教育の実施状況)



オリエンテーション	●新研修医(4/2)各45分×4G ・新看護師(4/7) レクチャー30分、館内ツアー10分×5G
臨床研究医	●PubMed(4/28)60分 ●RefWorks(6/5)60分★
講習会	●RefWorks(7/22、8/1)各60分★
リクエスト	●図書館活用法(9/11)60分【ACC】 ●RefWorks(10/15)90分【研究部】 ●ナースのための日本語文献の探し方(12/11、12/15)各60分【看護師】 ■RefWorks(3/30)【研究部へ出張】

●は館内実習
■は出張実習
★は外部講師

9

2009年度 (利用教育の実施状況)



オリエンテーション	●新研修医(4/2)各45分×4G ・新看護師(4/7) レクチャー30分、館内ツアー10分×7G
臨床研究医	●PubMed(7/17)120分 ●RefWorks(7/24)90分
リクエスト	●新採用者オリ(4/8)60分【リハ科】 ●RefWorks(6/1)90分【研究部】 ●RefWorks(6/8)30分【小児科】 ■サービス活用講座(4/21、6/10)60分【派遣課へ出張】

●は館内実習
■は出張実習

※RefWorks(レファワークス)は、ウェブで利用する文献管理などのツール

10

研修医向け (内容の詳細)



- ・ **新採用オリエンテーション**
 - 対象:新研修医 約45名(1学年)
 - 1グループ(11~13名)×各45分 計4回実施
 - 配布資料:図書館はじめてガイド [UG10]
 - ①館内ツアーでの利用方法の説明(10分)
 - ②図書館HPの活用と文献検索[PubMed]の基本を実習(30分)
 - H13年度から現行スケジュール(当初は5月に実施)
 - PC増設に伴いH17年度から実習形式、それ以前はデモンストレーション



11

看護師向け (内容の詳細)



- ・ **新採用オリエンテーション**
 - 対象:新看護師 約100名
 - ①会議室でのレクチャー「図書館の利用について」(30分)
 - ②館内ツアー 1グループ約15名×各10分 計7回
- ・ **ナースのための日本語文献の探し方**
 - 看護部院内教育「看護研究の進め方(12/8)」卒業後2年目との連動企画
 - 図書館の使い方の復習、医中誌Webの実習など60分(12/11、12/15 18:00-19:00)
 - 広報・募集は看護部教育委員



12

その他 (内容の詳細)



- 職員向け(中途採用者含む)
 - 図書館サービス活用講座(ホームページ)
 - PubMed検索から電子ジャーナルを使う(リンクリゾルバ)
 - データベース/文献検索講習会
 - 職員の行動パターン(利用環境など)を考慮
- 研究者向け
 - EBMを志向の[PubMed]検索(中級編)
 - 文献管理ソフト[RefWorks]の基本操作



定例のプログラム以外は、リクエストベース(不定期)の開催が多い

13

http://www.imcj.go.jp/crc/core_curriculum/content.htm

日付	タイトル	講師	責任担当
2008.4.14(月)	コースの概要、テスト		橋上
2008.4.21(月)	質問紙の作り方		橋上
2008.4.28(月)	図書館によるPubMed		図書館
2008.5.12(月)	How to find! Make people fall asleep during your research Presentation	Dr. Joshua Jacobs	
2008.5.19(月)	研究計画書について(1)		石塚
2008.5.26(月)	研究計画書について(2)		石塚
2008.6.2(月)	STATAで統計入門(1)		堀
2008.6.9(木)	RefWorksの基本操作		図書館

利用教育の視点からサービスを考える



- 図書館ホームページの運用
 - カウンターでの利用案内は、必ず図書館HPから開始
 - 同じ画面を見ながら各ツールやサービスを説明
- マニュアルの作成・公開
 - 原則として「利用教育」では、既存の「IMCJLIB User Guide」シリーズを使う
 - 「利用教育」の機会にマニュアル改訂、HP公開⇒最新ものを掲載できる、利用者はいつでも見直すことができる

司書がいなくても、ちょっとしたヒントがあれば解決できるかも・・・閉館時、出張時にもサポートしたい!

15

当館の課題



- 参加者数が少ない
 - ホームページに掲載
 - ポスター掲示
 - 院内メーリングリスト
 - 館内でのチラシ配布
 - キーパーソンへの声かけ
 - 中級プログラムの不足
 - 研究テーマの探し方
 - キーワードの見つけ方
 - 良い例題、問題の用意
 - 利用方法やサービスが浸透しない
 - 既存利用者の情報探索スキルの再確認
 - 新規利用者の獲得
 - ニーズ調査が不十分
 - 定期講習会の復活
 - レファレンスへの橋渡し
- …など

広報手段

16

利用教育の企画～工夫のポイント



- 目標・目的を設定する
 - 対象者に合わせた内容、構成、企画(目的/持ち時間/開催時間/人数/場所)
 - 業者さんの協力を得る
- 実施する
 - 参加者が少なくても気にしない
 - 何回もやってみることが大切←種まきになる!
 - 図書館のサポーター/リピーターを増やす
 - 発信しつづけて種をまく→誰かは目にしてくれる



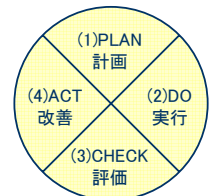
17

利用教育の評価



- 評価する
 - 利用や質問数の変化
 - 実施の記録を残す(自己評価)
 - アンケート調査
 - 同僚や参加者からの感想
 - 利用者との関係性
- 問題や課題は、次回に改善を試みる
 - 利用教育の報告
 - 「常に動いている」ことをアピール

サイクルを意識した戦略的な利用教育の実施



18

やってみよう利用教育！



・ 一歩踏み出すには・・・

- 他の人がやっていることを真似してみる
- 続かなくてもやってみる
- 続くことだけ続けてみる
- 自分なりの工夫を加えてみる



- ・ **利用教育は、利用者だけでなく図書館、図書館員を育てる**
- ・ **病院や利用者との貢献度／信頼度が高まり、良好な関係を作れる**

19

参考資料



【図書】 図書館利用教育ハンドブック(4-8204-0230-7)

- 【Web】 日本図書館協会 図書館利用教育委員会 <http://www.jla.or.jp/cue/>
- 日本ライブラリー協会 臨床研修必修化図書室支援 研修医医向け図書室オリエンテーション実施ガイド作成 <http://jbla.org/rinsyo/orientation.html>
 - 日本看護図書館協会 利用教育研究グループ 育てあう看護図書館ブログ <http://sodateau-blog.seesaa.net/>

【雑誌】 医学図書館 52(1) 2005.3 特集：情報リテラシー・サービス

- 松本純子：住友病院図書室における利用者教育：新卒研修医のオリエンテーションを中心に。病院図書館 2004;24(4):174-176
- 塚越貴子：新人職員へのオリエンテーション。日赤図書館雑誌 2007;14(1):17-19
- 松本直子ほか：聖路加看護大学図書館における利用教育サービス。看護と情報 2008;15:54-59
- 塚越貴子：前橋赤十字病院図書室における新人看護師オリエンテーション。看護と情報 2008;15:60-64

20

